

## 学 会 記 事

◎第3回理事会(昭.34.8.25)出席者:田中会長,本間,富樫両副会長,川村,尾之内,藤村,田中,八十島,井口,小野,川勝,比田の各理事。報告事項:1)8月22日までの各種委員会および行事,会計,刊行物の報告。協議事項:(1)特別員の増加については支部長会議と一緒に協議して資料;特別員の現在調査,総合建設業200社調査により各支部の協力を求めること。(2)次の委員会設置について a)土木賞規約制定委員会 委員長に星壁 和君,幹事長に横田周平君を内定する。b)土木会館委員会 委員長に金子源一郎君を内定し,土木会館用地委員会を合併して構成する。c)土木士法制定委員会 次回に協議する。(3)秋のエキスカッション黒部ダム建設工事見学を予定し,各支部も共催の形とする。(4)フィルム ライブラリーの計画は「土木関係啓蒙映画目録」をもととし,関係者の利用についての必要事項をさらに調査すること。(5)日本学術会議中央選挙管理委員会委員の後任に田中理事を推薦すること。(6)耐震工学委員会の内規を承認する。(7)東北支部常議員 小池 啓君,菱田英三君の委嘱を承認する。(8)次の委員会委員の委嘱を承認する。a)文献調査委員会 幹事 佐藤吉彦君, b)論文抄録委員会 佐々木四郎君。c)海岸工学委員会 細井正延君,細谷正実君,富永正照君,林 泰造君,井島武士君,佐藤 肇君,広谷寿彦君,松本輝彦君。(9)その他 本間副会長より照合の Cavitation および水力機械国際会議を1960年10月6日~8日東北大学高速力学研究所において日本機械学会と共催の件を承認する。(10)7月中の会員入退会を承認する。

◎支部長会議(昭.34.8.25)出席者:(共海道)尾崎晃幹事長,(東北)矢崎道美幹事長,(中部)高田 緑幹事,(関西)江口 馨支部長,小西一郎幹事長,(中国四国)山根 孟幹事,本部理事および事務局。議事:(1)特別員の増加に努めること。(2)土木賞授与規程改正について,本部の土木賞規約制定委員会の始まるまでに意見を提出すること。(3)日本学術会議第5期会員選挙候補者石原,福田両教授の当選に支部として協力すること。(4)10月のエキスカッション;黒部ダム建設工事見学には各支部共催の形で行うこと。(5)その他。

### ◎各種委員会

1. 第3回会誌編集委員会(昭.34.8.24)出席者:田原委員長,八十島部長,奥村,樋口,田村,難波,上東,足立,米沢,榎野(代畠山),寺島(代鶴見),塚,諫山(代佐藤),浅井,大西,後藤(東北)の各委員,末森専務理事,深谷幹事。議事:1)投稿原稿審査報告,2)

新規受付原稿審査委員の決定,3)依頼原稿の件,4)44巻10号会誌登載原稿を次のとおり予定した。

水野俊一:まだ固まらないコンクリートの水セメント比の一試験方法,上野忠男:発電用原子炉の地下格納について,岡部三郎:首都圏における将来の工業用水対策,飯島延恵・萩原敏雄:円筒殻水槽の耐震計算について,松本嘉司:膨脹セメントの最近の発達について。

2. 第3回会誌編集小委員会(昭.34.8.7)出席者:樋口,上東,諫山(代佐藤),足立の各委員,深谷幹事。議事:1)44巻8号登載ニュースおよび口絵写真の確認,2)豆知識の担当について,3)44巻9号の内容を確認した。

3. 第3回文献調査委員会(昭.34.8.5)出席者:樋口委員長,高野,徳田,日野,山村,国広,佐藤,土屋(代田中),南雲,津野,片山(代小合),今岡の各委員,矢島幹事。議事:1)44巻9号登載文献抄録の選定,目録カードの提出,2)矢島幹事渡仏につき後任幹事として佐藤委員を決定,3)その他。

4. 海岸工学委員会(昭.34.8.3)出席者:本間委員長,石原および岩垣(代榎木),宇野木,堀川,福岡(代富永),新妻,真嶋(代溝口),佐島,佐賀(代広谷),久田(代御巫)の各委員および小寺重郎氏。議事:1)新潟で開催の第6回海岸工学講演会の予算につき,現地で立案のものに協議した。2)来年度講演会は次回委員会で相談する。3)1960年8月オランダヘーグにおいて開催の The Conference on Coastal Engineering の提出論文について。4)本年度の予算。5)委員の交代について。6)ハンドブック海岸工学部門について。7)次回は11月6日新潟市において委員会を開くこと。

5. 第29回耐震工学委員会(昭.34.8.4)出席者:沼田委員長,岡本,神谷,小西(代山田),寺島(代鶴見),友永,平井(代伊藤),星壁,比田,水越,御牧,篠原の各委員。久保,高田の各幹事,小寺重郎氏。議事:1)世界地震会議の論文について報告。2)国鉄よりの委託研究について,幹事会,本委員会の構成によつて研究を進める。とりあえず幹事会を構成する。

幹事長:久保慶三郎

幹事:小寺重郎(国鉄),伊藤 学(東大),  
御牧陽一(東電)

ほかに運輸省1名を予定する。

幹事会において本委員会委員を選考する。3)耐震工学委員会内規を理事会に提案して決裁を求めること。

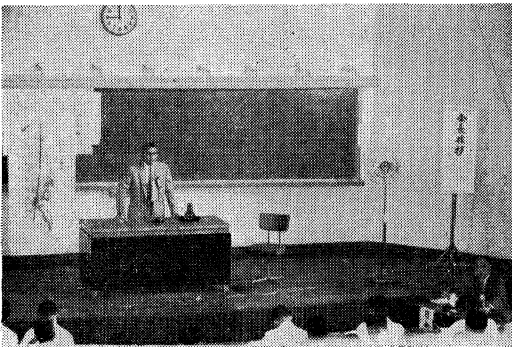
6. 長大橋梁および鋼鉄道橋研究委員会(昭.34.8.6,軽井沢において)出席者:田中委員長,沼田,福田,成瀬,平井,田原,田中(五),平林,小西,奥村,友永,松崎の各委員,西村,大宮,安浪,伊藤,菊地,田島,阿部の各幹事。議事:1)高張力鋼鉄道橋設計示方書案

一条文の一部変更について説明。2) 溶接高張力橋設計示方書第1章 総則, 第2章 材料, 第3章 許容応力について検討, 3) 高張力鋼溶接継手に関する実験計画について, 4) 瀬戸内海を横断する長大橋梁について説明。

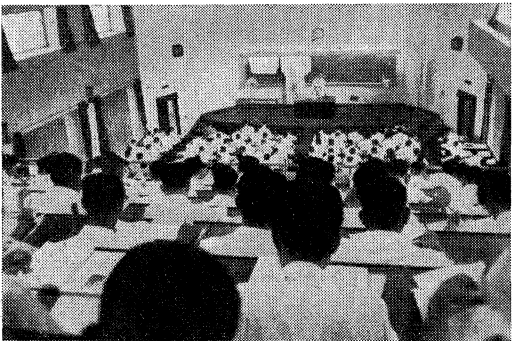
7. 夏期講習会講師打合せ(昭.34.8.26) 講師: 原口, 宮崎, 伊吹山, 坂本, 佐藤(代島田), 田中, 西嶋, 村山, 亀沢の各氏。学会側: 田中会長, 小野, 川勝両理事, 末森専務, 朝倉, 榎本, 堀内, 岡本。議事: 1) 菟田講師講演取消し, 竹中講師の講演を亀沢氏代講のこと。2) 「トンネルと掘削工法」編集経過報告。3) 映画について。4) その他。

8. 夏期講習会(昭.34.8.27~29, 日本大学法学部講堂) 本年は「トンネルと掘削工法」と題し, 現場技術者に最も関係の深いテーマをとりあげたところ, 参加者755名の多きに達し夏期講習会としては昨年を上まわる新記録

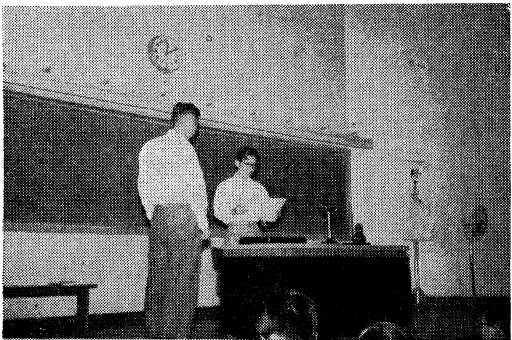
田中会長の挨拶



満員の会場



本間副会長より終了証書を受ける受講者代表 安齋 勝氏



を立てた。このため600名の会場収容人員をオーバーし補助椅子まで持込む盛況であった。とくに本年の参加者の傾向として業界関係がきわめて多く, 国鉄, 建設省, 通産省の順であり, この種の問題の関心のあり方を示す貴重な資料を得た。第1日は小野理事の司会のもとに田中会長の挨拶のあと原口講師を皮切りに次々と貴重な体験が語られ, 第2日, 第3日の全講義終了まで熱心な聴講が続けられた。終りにのぞみ本講習会に絶大な御協力を賜わった各講師, 日本大学当局を始め, 国鉄, 帝都高速度交通営団, 関西電力, 鹿島建設等の関係各位に厚く謝意を表する次第である。

(第1日)

- 挨拶 土木学会々長 工博 田中 茂美氏  
 1) 最近のトンネル工法 国鉄建設局建設総課長 原口 正一氏  
 2) トンネルの地質調査 国鉄鉄道技術研究所地質研究室長 宮崎 政三氏  
 3) トンネルの換気と照明 建設省土木研究所道路研究室長 伊吹山四郎氏  
 4) トンネル工事用機械とその設備 国鉄建設局線増課 小竹 秀雄氏  
 5) トンネル工事の安全対策 京都大学教授 工博 村山 朔郎氏  
 映画: a) ストルノルフォス放水路トンネル (国鉄建設局 提供)  
 b) 地下鉄の特殊工法 (帝都高速度交通営団 提供)  
 c) 奥只見第一部 (鹿島建設KK 提供)

(第2日)

- 6) トンネルの支保工と覆工 国鉄札幌工務局長 坂本 貞雄氏  
 7) 大発破工法について 鹿島建設土木工務部計画課長 佐藤忠五郎氏  
 8) ダムの地質とその掘削工法 電力技術研究所地質研究室 工博 田中 治雄氏  
 9) 和田川超高圧トンネルの施工について 北陸電力常願寺川水系建設所長 和沢 清吉氏  
 10) 地下鉄道の掘削工法 帝都高速度交通営団工事々務所長 西嶋 國造氏  
 11) 大町トンネル破砕帯工事について 関西電力黒部川第四発電所建設事務所 村山 功氏  
 映画: d) 関門トンネル (日本道路公団 提供)  
 e) 地底の凱歌—黒部峡谷第2部— (関西電力KK 提供)

(第3日)

- 12) 北陸トンネルの掘削について 国鉄岐阜工務局長 工博 上原要三郎氏  
 13) 黒部川第四発電所地下掘削について 関西電力黒部川第四発電所建設事務所 亀沢 久信氏  
 14) 関門道路トンネルの掘削について 建設省九州地方建設局道路部長 住友 彰氏  
 終 講 式  
 挨拶 土木学会副会長 工博 本間 仁氏

昭和34年度夏期講習会参加者内訳

1. 建設省関係	144名
2. 運輸省 "	4 "
3. 国鉄 "	182 "
4. 学 校 "	21 "
5. 通産省 "	106 "
6. 農林省 "	26 "
7. 業 界 "	266 "
8. そ の 他	6 "
計	755名

支 部 だ よ り

◎北海道支部

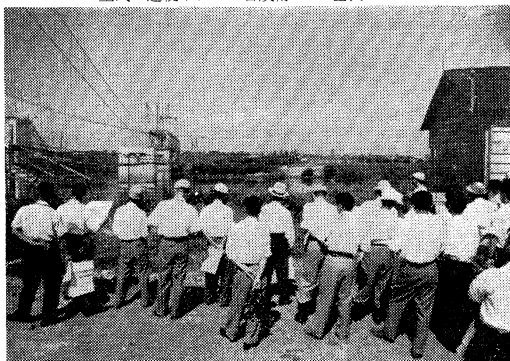
(1) 橋梁と道路の見学会(昭.34.8.21)

午前8時, 今支部長, 尾崎幹事長ほか48名の会員は

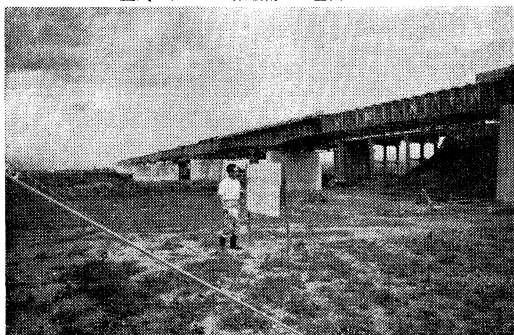
北海道支部見学会道程図



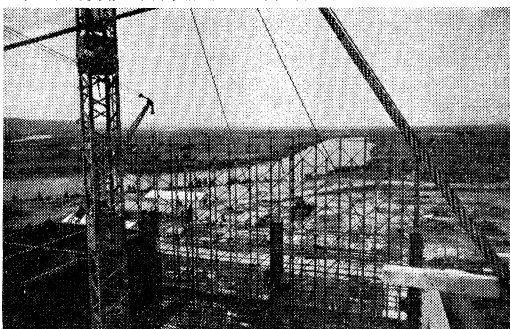
岩見沢大橋のケーブル エレクション  
型式 連続トラスと合成桁 全長 400.6 m



石狩川橋梁架換工事  
型式 ゲルバー鋼板桁 全長 638.3 m



滝川火力発電所  
発電能力 150 000 kW 本館には窓をつけず、防火、防水に注意を払い、貯炭場は半円形構造とし貯炭能力を増すよう工夫してある。



北大のスクール・バスに乗り残暑の国道 12 号線を北上し、沿線の橋梁架設工事、火力発電所建設工事、および道路舗装工事を見学した。

途中、岩見沢市外でバスが故障し、予定より 2 時間遅れて午後 7 時、札幌についたが、開発現場を追って、初秋の石狩・空知平原を駆けめぐつた会員はよるこびのうちに散会した。見学現場は左図のとおりである。

◎東北支部 役員変更について (昭.34.7.22)

	(新)	(旧)
常議員	小池 誉	高木 健
商議員	菱田 英三	内田 襄
	谷 垣 博	北村 市太郎
	岩永 義美	義輪 健二郎
	伊藤 直行	松本文彦
幹事	高橋 倫夫	川崎 敏視
	上野山 和男	幸 亀 人
		永沼 興郷

◎中部支部 (昭.34.8.18)

(1) 役員の変動 a) 辞任 顧問 梶谷 薫君, b) 新任評議員 高野 務君 (建設省中部地方建設局長), c) 交代

	(前任)	(新任)
幹事長	田所文男君	桑山三郎君 (愛知県道路課長)
評議員	有本欣二君	神田精之君 (建設省中部地方建設局企画室長)
	好井宏海君	平川明之君 (国鉄中部支社調査役)
幹事	木戸棋朔君	角坂仁忠君 (静岡県河川課長)
	野田二郎君	別所正夫君 (長野県道路課長)
	平山 章君	北原正一君 (国鉄岐阜工事局土木課長)

(2) 行事報告 (a) 第 3 回幹事会 6 月 9 日 幹事 15 名, (b) 6 月講演会 (6 月 25 日 13~16.40 時 愛知県文化会館集会室)「黒部川第四水力発電所建設工事の設計および施工の概要について」関西電力 東海支社長 竹中 徳君, 映画「黒部峡谷」, 「地底の凱歌」参加人員 350 名, (c) 第 4 回幹事会 7 月 22 日 幹事 19 名, (d) 7 月見学会 (7.24) 名神高速道路 (大津・山科地区) 建設現場並びに東山有料道路, 参加人員 102 名, (e) 第 5 回幹事会 8 月 11 日 桑山幹事長始め 18 名, (f) 8 月講演会 「第 9 回応用力学連合講演会」共催 8 月 29 日~31 日 名古屋大学工学部 2 号館において。

◎関西支部

(1) オペレーションズ リサーチ (O.R) の土木工学への応用に関する講習会 (昭.34.8.10, 大阪合同庁舎別館 2 階大講堂)

題目と講師

1) 工学の分野における OR	米国ケース工科大学教授 工博 レオナード アーノフ
	代 講 京都大学 米谷 栄二
2) 鉄道工学の OR	日本国有鉄道新橋工事局 西田 正之
3) ダム系統の OR 的管理	京都大学助教授 工博 石原 安雄

- 4) 港湾工学の OR 運輸省第三港湾建設局 長尾 義三  
 神戸港湾工事々務所次長  
 5) 道路工学の OR 京都大学教授 工博 米谷 栄二  
 参加者 307 名

- 5) 鋼材を使用した最近の繫船岸 運輸省門司港工事々務所長 板尾 純一君  
 6) 欲米のアーチ ダムについて 九州電力KK 直村 徳三君

(2) 昭和34年度技術講座世話人会(昭.34.8.11, 京都大学工学部会議室) 出席者: 京都大学 小西教授, 丹羽教授, 大阪大学 伊藤助教授, 神戸大学 畑中教授, 大阪市立大学 倉田教授

(3) 第4回幹事会(昭.34.8.24, 近畿地方建設局企画室長室) 出席者: 小西幹事長, 石田, 伊藤, 北村, 中川, 丹羽, 八木の各幹事。

(4) 支部長会議について(昭.34.8.2.) 東京丸の内会館で開催の支部長会議には江口支部長および小西幹事長が出席した。

◎西部支部(昭.34.8.31)

夏期講習会 8月21日(9.10~17時, 長崎県雲仙新湯ホテル ホール) 参加人員 131名。

講習題目および講師

- 1) 若戸橋工事について 道路公園若戸橋工事々務所長 川崎偉志夫君
- 2) 開水路不等流水深式の作製とその実施計算例について 宮崎大学教授 川上謙太郎君
- 3) コンクリートの骨材を主とした配合 九州大学工学部土木教室 徳光 善治君
- 4) テーパー ビットおよびロットの管理上の問題について KK間組 島津 静雄君

関係学協会だより

1. 日本機械学会

- 1) 東京秋期講演大会 昭.34.10.15~17, 東京大学工学部2号館, 講演申込 9.19 討論受付 10.3
- 2) 長崎臨時大会 昭.34.10.29~31 長崎市三菱記念会館, 講演申込 9.19 討論受付 10.10

2. 日本水道協会

第28回総会 昭.34.11.11~13 名古屋市公会堂

3. 日本建築士会連合会

建築と生活展 昭.34.11.10~23 国際貿易センター

4. 全国道路利用者会議

- 1) 全国大会 昭.34.10.15 10.00~12.00時, 富山市電気ビル
- 2) 道路視察旅行 10.15 13.00時より, 10.16~17 富山, 石川, 福井三県にわたり行われる。

(詳細は土木学会にお問合わせ下さい。資料が到着しております)

“トンネルと掘削工法”頒布について

体裁: B5判 374 ページ, 上質紙使用, 図表・写真多数, 上製本

頒価: 一般 600 円(〒50 円) 会員特価 500 円(〒50 円)

申込方法: 希望部数, 氏名, 送本先を明記の上, 代金, 送料とともに土木学会あてお申込み下さい。申込順に発送いたします(本号挿入のハガキを御利用下さい)。

会員入退会について(昭.34.8.31現在)

1. 入	会	46 名(特2 1, 正 44, 学 1)
2. 退	会	29 名(正 25, 学 4)
3. 転	格	3 名(学より正へ 3)

会員現在数(昭.34.8.31現在)

名譽員	賛助員	特1A	特1B	特1C	特2	特3	正員	学生員	増加	合計
24	30	17	12	71	110	93	13 410	936	17	14 703

正員 金森 誠之君 金森綜合土木研究所長 昭和34年8月19日逝去 68才

昭和34年9月10日印刷

昭和34年9月15日発行

土木学会誌 第44巻 第9号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社 技報堂

東京都港区赤坂溜池5番地

発行者 末森猛雄

発行所 社団法人 土木学会

東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)

定価 100 円

振替 東京 16828 番

電話 (35) 5130・5138・5139 番